

2009年春のスギ、ヒノキ科花粉の飛散動態

佐橋紀男（東邦大学理学部、NPO 花粉情報協会）

1986年以來スギ花粉前線作成に取り組んできたが、2009年春も全国107地点のスギとヒノキ科花粉の初観測日、飛散開始日、最大飛散日（飛散数）と総飛散数について全国の花粉調査施設の花粉測定者の協力を得て収集し、興味ある結果を得たので報告する。

「初観測日」スギ花粉：正月明けから観測開始できた50地点の44地点で1月中に観測、遅かった東北北部（むつ市）でも2月14日（昨年3月10日）。ヒノキ科花粉：2月中は全国で僅か10地点（96地点中）、3月中旬に半数以上の58%で観測。

「飛散開始日」スギ花粉：スギ花粉前線作成に利用している飛散開始日、関東から四国の沿岸にかけて1月31日に観測。それ以外の関東以西の広い範囲で2月上旬。2月中旬には近畿、中部、北陸、東北南部。東北北部には3月上旬（一部中旬）。津軽海峡を1旬で渡り、道南では3月中旬、札幌や旭川では4月上旬。結局前線到達期間はほぼ平年並であった。ヒノキ科花粉：3月、特に中旬に集中し、全体の75%。4月には東北、北陸など11地点、4月11日（山形市）が最も遅い。

「最大飛散日と飛散数」スギ花粉：2月中、下旬に関東以西の32地点で観測され、3月には38地点で観測されており、明らかに2分されているためか、ピーク日が集中した特異日は2009年では認められなかった。一方ピーク日の飛散数は4桁飛散が認められ全国で14地点に及び、特に西日本で多く、最大は天理市（3月10日：2429）。関東は1000個台で最大飛散数でも西日本に及ばなかった。ヒノキ科花粉：全国的には4月上旬（61%）だが、3月中～4月中旬に殆どが観測。最大飛散数は西日本でスギ花粉同様に多く、4桁飛散が6地点、最大はスギ花粉同様に天理市（6500）。東日本では4桁飛散は2地点、名古屋最大（1492）。

「総飛散数」スギ花粉：5桁飛散は天理市（13191）、津市（11941）、田辺市（10154）の3地点でいずれも紀伊半島。ヒノキ科花粉：5桁飛散は天理市（35954）1地点であり、同地点のスギ花粉の2.7倍。2番目に多い大津市（7587）の約5倍。総飛散数でヒノキ科花粉がスギ花粉を上回った地点は11地点、この内8地点が西日本であった。

「まとめ」2009年のスギ、ヒノキ科花粉の飛散動態はこれまでの常識を破った、型破りの飛散動態であり、特に2月中旬（2月15日前後）に最初のピークが多く地点でまとまって観測されたのは過去に殆ど例がない。関東以西の多くの地点では2月中旬は平均的な飛散開始日であり、最初の飛散ピーク日は2月下旬から3月上旬であることから、2009年に限って見れば、ピーク日が関東などでは半月から1ヶ月も早かったことになる。